

平成29年度行政事業レビューシート ( 総務省 )

<b>事業名</b>	G7情報通信大臣会合開催経費			<b>担当部局庁</b>	国際戦略局			<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成28年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	平成28年度	<b>担当課室</b>	国際政策課			課長 山崎 良志		
<b>会計区分</b>	一般会計									
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	総務省設置法第4条第1項第72号及び92号			<b>関係する計画、 通知等</b>	-					
<b>主要政策・施策</b>	IT戦略			<b>主要経費</b>	その他の事項経費					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)</b>	平成28年5月26日・27日に我が国で開催された伊勢志摩サミットに先立ち、平成28年4月29日・30日に香川県高松市において、G7情報通信大臣会合を議長国として開催し、我が国の優れたICT技術を世界に強力に発信し、ひいては地方創生にも貢献することとなった。									
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	上記目的の実現のため、G7情報通信大臣会合を効率的・効果的に運営し、必要事務を外部委託した。									
<b>実施方法</b>	直接実施、委託・請負									
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	137	-	-			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計	0	0	137	0	0				
	執行額	0	0	136.5						
	執行率 (%)	-	-	100%						
	当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)	-	-	100%						
<b>平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)</b>	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	-	-	-							
	計	-	-							
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
	G7情報通信大臣会合の開 催を通じ、ICTに関する各 国の合意文書を策定する。	各国合意文書の数	成果実績	件	-	-	3	-	-	
			目標値	件	-	-	1	-	-	
			達成度	%	-	-	300	-	-	
<b>根拠として用いた 統計・データ名 (出典)</b>	目標値の設定根拠: G7情報通信大臣会合での成果を少なくとも1つの合意文書に反映させる。									
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
	議論の成果を反映させたI CTに関する新たな取組を 実施する。	ICTに関する新たな取組の 件数	成果実績	件	-	-	4	-	-	
			目標値	件	-	-	1	-	-	
			達成度	%	-	-	400	-	-	
<b>根拠として用いた 統計・データ名 (出典)</b>	目標値の設定根拠: G7情報通信大臣会合での成果を反映させた取り組みを少なくとも1件実施。									
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
	関連イベント及び関連会議 が5件開催されることを目指 す。	地方自治体等が主催する 関連イベント及び関連会議 の件数	成果実績	件	-	-	5	-	-	
			目標値	件	-	-	5	-	-	
			達成度	%	-	-	100	-	-	

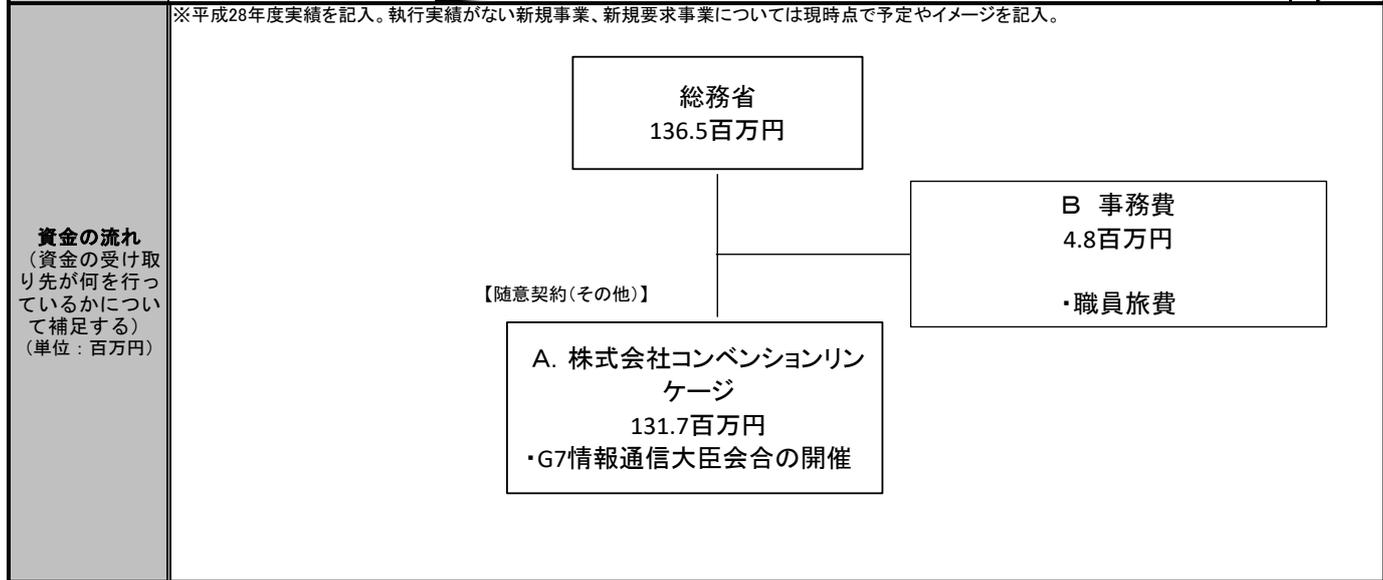
根拠として用いた統計・データ名(出典)		G7情報通信大臣会合開催に先駆けて総務省や四国総合通信局、高松市が計画した関連会議・イベント数から算出								
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込		
	G7情報通信大臣会合	活動実績	回	-	-	1	-	-		
		当初見込み	回	-	-	1	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	執行額/G7情報通信大臣会合開催回数	単位当たりコスト	百万	-	-	137	-			
		計算式	百万/回	-	-	137/1回	-			
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	V.情報通信(ICT政策)								
	施策	政策14:ICT分野における国際戦略の推進								
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標年度	
		二国間での定期協議、政策協議、国際機関等における会議への参画及び意見交換の実施回数	実績値	回	45	47	48	-	-	
			目標値	回	38	38	38	-	-	
		定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標年度	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	G7香川・高松情報通信大臣会合における成果文書の取りまとめやG7及びEUとのバイ会談での協議を行うことにより、情報通信分野における国際的な課題解決、連携強化を図ることにより、我が国の方針に沿った国際的なルール作りが実現されることとなるため、円滑な情報流通等、国際的な政策協調に貢献し、我が国ICT企業の海外展開に寄与する。									
	改革項目	分野:	-	-						
	(第一階層) KPI	KPI(第一階層)		単位	計画開始時年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度	
成果実績		成果実績		-	-	-	-	-		
		目標値		-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI(第二階層)		単位	計画開始時年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度		
	成果実績	成果実績		-	-	-	-	-		
		目標値		-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	G7の情報通信大臣がICTについて議論し、国際社会が直面する様々な課題について、率直な意見交換を行い、G7各国が協調して対応することは、高齢化等地球規模の課題の解決に資することから、国民や社会のニーズに合致している。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	今回のG7情報通信大臣会合は、我が国が主催する会合であり、国が積極的に実施すべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国際会議の場で、我が国の政策や現状を広く主張し、諸外国の理解を図ることは、国益の確保に必要不可欠であることから、優先度の高い事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	G7情報通信大臣会合は年度開始間もない4月開催であったため、一部業務については平成27年度中に契約する必要があり、平成28年度も情報管理や企画案の確実な実施という観点から前年度と同一の事業者と契約した。 なお、平成27年度の契約時は、複数者(4社)の企画案を厳正に採点した上での随意契約(企画競争)であり、事業者の選定に当たり質的評価を実施している。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有						
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	企画競争入札により最も優れた提案者を選定していることから、単位当たりコストの水準は妥当である。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	項目毎の単価や必要性について精査を行っている。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	項目毎の単価や必要性について精査を行っている。						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	G7情報通信大臣会合の合意文書をとりまとめることができ、ICTに関する新たな取組を創出することとなった。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-					
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	所管府省名	事業番号	事業名				-
所管府省名	事業番号	事業名						
点検・改善結果	点検結果	今回のG7情報通信大臣会合は、我が国が主催する会合であり、我が国の政策や現状を広く主張し諸外国の理解を図ること、国際社会が直面する様々な課題についてG7各国が協調して対応することは非常に重要である。 事業実施に当たっては、複数業者から企画を公募し、企画競争入札により最も優れた提案者を選定しており、透明性・競争性を確保し経費削減を図るなど、効率的で適切な予算執行に努めている。						
	改善の方向性	当該施策は継続施策ではないが、類似施策においても引き続き効率的な・予算執行が行われるよう努める。						
<b>外部有識者の所見</b>								
随意契約1者落札率100%となっており、質の高い調達ができなかったか不明である。参加者の評価点を記載するなどの工夫をされたい。								
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>								
予終了	平成28年度をもって事業終了。							
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>								
予定通り終了	G7情報通信大臣会合は年度開始間もない4月開催であったため、一部業務(企画立案業務)については平成27年度中に契約を行った。(複数者(4社)の企画案を厳正に採点した上での随意契約(企画競争)であり、事業者の選定に当たり質的評価を実施している。) なお、平成28年度に契約した当該案件は運営業務が主だが、情報管理や企画案の確実な実施という観点から前年度の契約業者と引き続き契約する必要があったため、随意契約を行ったもの。以上を踏まえ、シートの記載を修正した。 なお、当該施策は、平成28年度をもって事業を終了している。							
<b>備考</b>								
-								

関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新28-0016
平成28年度	新28-0014				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.株式会社コンベンションリンケージ			B.個人		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部請負費	会場代・車両代・通訳費等	110.8	職員旅費	国内出張	0.2	
管理費	外部請負に係る一般管理費	11.1				
消費税	消費税	9.8				
計		131.7	計		0.2	

### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社コンベンションリンケージ	8010001092202	「G7香川・高松情報通信大臣会合及び関連会合」等開催支援業務の請負	131.7	随意契約(その他)	-	100%	-

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	職員1	-	職員旅費	0.2	その他	-	-	-
2	職員2	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	-
3	職員3	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	-
4	職員4	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	-
5	職員5	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	-
6	職員6	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	-
7	職員7	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	-
8	職員8	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	-
9	職員9	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	-
10	職員10	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	-